

# 名古屋大学 予防早期医療創成センター 第8回研究会

<http://www.pme.coe.nagoya-u.ac.jp>

11月29日(火) 名古屋大学 東山キャンパス ES総合館1階 ESホール

## 【プログラム】

10:00~10:20	企画	<b>薬事戦略相談 ~PMDAによる個別面談会</b>	導入説明
10:20~13:50			個別面談会(無料・事前予約) 於 ES会議室 20~30分/件
15:00~15:05	挨拶	名古屋大学 予防早期医療創成センター長 副総長・医学部附属病院長	松尾 清一 (まつお せいいち)
15:05~16:05	講演1	<b>PMDAで新たに開始した薬事戦略相談事業について</b> (独)医薬品医療機器総合機構(PMDA) 審査マネジメント部 薬事戦略相談室 室長	益山 光一 氏 (ますやま こういち)
16:05~16:45	講演2	<b>考えるだけでコンピュータに文字を入力 ~四肢麻痺患者の為にコミュニケーションツール</b> 名古屋大学 大学院 工学研究科 計算理工学専攻 教授	古橋 武 (ふるはし たけし)
16:45~17:25	講演3	<b>培養骨髄細胞と多血小板血漿を用いた骨再生技術</b> 名古屋大学 医学部附属病院 整形外科 講師	鬼頭 浩史 (きとう ひろし)
17:30~18:30	<b>意見交換会</b> (於:ES総合館1階 シェジロー会費2,000円 どなたでもご参加頂けます)		

申し込み・問い合わせ先

名古屋大学 予防・早期医療創成センター  
URL <http://www.pme.coe.nagoya-u.ac.jp/>

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学赤崎記念研究館4F  
TEL・FAX:(052) 789-5499  
E-mail:'PME拠点事務室 澤山'  
[k-sawayama@pme.coe.nagoya-u.ac.jp](mailto:k-sawayama@pme.coe.nagoya-u.ac.jp)

## 【アクセス】

地下鉄名城線  
名古屋大学駅  
2番出口から  
徒歩5分



## 講演1 PMDAで新たに開始した薬事戦略相談事業について

(独)医薬品医療機器総合機構(PMDA) 審査マネジメント部  
薬事戦略相談室 室長 益山 光一(ますやま こういち)氏

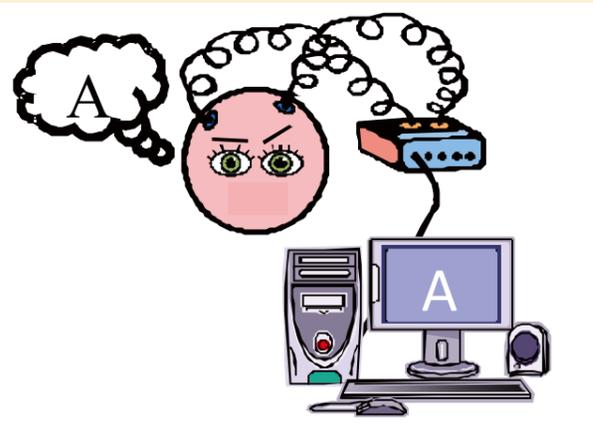
医薬品及び医療機器に関する我が国発のシーズの実用化に向け、PMDAにおいて新たに「薬事戦略相談事業」を開始した。本講演では、①薬事戦略相談事業創設の背景、②薬事戦略相談とはどのようなものか簡単な解説と紹介、③薬事戦略相談の実施方法について説明する。

薬事戦略相談事業の概要	
キャッチフレーズ「薬事戦略相談を導入し、日本発の革新的医薬品・医療機器の創出につなげる」	
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 創業の開発に要する期間・コストの増加傾向等により、シーズ探索段階の基礎研究への注力が難しい。</li> <li>○ 画期的な医薬品・医療機器の開発には有望なシーズの絶え間ない供給とその実用化への方策が重要。</li> <li>○ 国内では、有望なシーズを発見したアカデミア(大学)、ベンチャー等が、製品化につなげるための開発戦略に不案内ということがあり、実用化に向けての橋渡しが進められていない現状がある。</li> </ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シーズ発見後のアカデミア(大学)、ベンチャー等における、医薬品・医療機器候補選定の最終段階から、POC試験程度に至るまでに必要な試験・治験計画策定等に関する相談を主な対象とする「薬事戦略相談事業」をPMDA(医薬品医療機器総合機構)において開始する。</li> <li>○ 「薬事戦略相談」においては、薬事に精通した製薬企業出身者を含む多彩な相談員を確保して、開発・薬事の相談に応じる。</li> <li>○ 官民協力により事業を推進するため、「医薬品・医療機器薬事戦略懇談会(仮称)」を設置し、相談事業の優先順位付け、実現可能性等の検討を行った。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本発の医薬品・医療機器の早期承認</li> <li>○ ドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの解消</li> </ul>
PMDAウェブサイトをご参照下さい。 URL: <a href="http://www.pmda.go.jp/">http://www.pmda.go.jp/</a>	

## 講演2 考えるだけでコンピュータに文字を入力 ～四肢麻痺患者の為のコミュニケーションツール

名古屋大学 大学院 工学研究科 計算理工学専攻  
教授 古橋 武(ふるはし たけし)

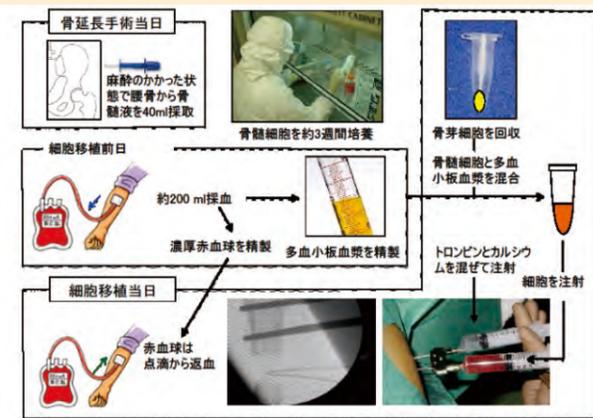
脳とコンピュータのインターフェイス(Brain Computer Interface)の研究が盛んであります。BCIとは、コンピュータが人の脳活動を計測し、判別を行うことで、人が考えるだけでロボットを制御したり、コンピュータに文字を入力したりできるインターフェイスです。全身の筋肉が麻痺した患者さんのコミュニケーションツールとして利用される日も遠くありません。



## 講演3 培養骨髓細胞と多血小板血漿を用いた骨再生技術

名古屋大学 医学部附属病院 整形外科  
講師 鬼頭 浩史(きとう ひろし)

骨髓由来の間葉系幹細胞を培養下に骨芽細胞に分化・増殖させ、細胞増殖因子が豊富でゲル化することにより細胞の足場となり得る多血小板血漿に混合して移植する新しい骨再生技術を開発した。本法の臨床成績を提示するとともに、骨芽細胞培養技術を向上させる試みについても紹介する。



### 【予防早期医療創成センターのご案内】

### Innovative Research Center for Preventive Medical Engineering

- 名古屋大学では、予防早期医療に関わる広範で複合的な研究課題に対し、医工等分野を超えた連携や産学官の連携により、融合研究に取り組む拠点として「名古屋大学 予防早期医療創成センター」を設置致しました。
- 異分野・異業種が集う研究拠点で、予防早期医療に関する新しい価値を創造することを目的に、「健康から疾病までのシームレスなケアシステム」により、「蓄積した“個人”の健康・医療情報」から“個人”に最適な予防や早期医療を行う」為の研究を実施しております。
- 当センターでは、融合研究を刺激しより発展させるような契機として、定期的な研究会を開催しております。どなたでもご参加頂けます。新たな情報収集や、協働研究の契機として、多くの方のご参加をお待ちしております。
- センターに関するご質問・ご相談は、下記まで御連絡下さい。  
名古屋大学 赤崎記念研究館4階 TEL・FAX:(052) 789 - 5499  
[kou-kyoten@post.jimu.nagoya-u.ac.jp](mailto:kou-kyoten@post.jimu.nagoya-u.ac.jp)

